

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成15年11月19日(水) 5校時

場 所 花巻市立若葉小学校

学 級 2年1組(男18名 女19名 計37名)

指導者 大西 淳子

- 1 単元名 一、ようすを考えて読もう (光村図書 2年下)
「お手紙」 アーノルド＝ローベル 作・絵
三木 卓 訳

2 単元について

(1) 児童について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」ことである。

児童は第2学年になってから、「みんなで読もう(ふきのとう)」では役に分かれて読んだり動作化したりしながら、想像を広げて読む学習をしている。さらに、「すきなお話を読もう(スイミー)」では自分なりの感想をもちその根拠を話し合うことや、場面のまとまりに注意しながら場面の雰囲気合わせた音読を工夫する学習をしている。

このような学習を通して、児童はあらすじを押さえながら、場面ごとの想像を広げて読むことができるようになってきている。だが、叙述に即して人物のかかわり合いや心情の移り変わりを読み取る力は、まだ不十分である。

(2) 教材について

本教材は、「スイミー」(レオ＝レオニ作、谷川俊太郎訳)に続いて2回目の翻訳教材である。

おっとりとした語り口とほのぼのとした挿絵で、かえるくんとがまくんの心の触れ合いが描かれている。会話中心に展開されており、その中に人物の気持ちや人柄が表れている。また、かえるくんとがまくんの対応の繰り返し(反復描写)がリズムを生み出している。

ちょっぴりわがままで、自分勝手ながまくんと、一生懸命に優しい言葉をかけるかえるくん。2年生の児童にとって、分かりやすく楽しいお話だと思われる。

(3) 指導にあたって

次のような段階を踏んで指導することにより、一人一人の児童に読む力を身につけさせるようにしたい。

- ・いろいろなバリエーションで音読を繰り返すことにより、すらすらと音読できるようにする。
- ・役割に分かれた音読を繰り返す中で、だれの会話かを無理なく理解できるようにする。
- ・会話のやり取りから、場面の様子や心情の変化を読み取らせる。
- ・場面の様子や心情について読み取ったことを生かして、音読で表現させる。

また、かえるくんとがまくんが登場する、ローベルのほかの作品を読むことにより、作品の構成や設定の類似点や相違点に気づかせたり、人物像を深めさせたりしたい。

さらに、そのことにより、読書への意欲づけを図りたい。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・「お手紙」を読んで感想をもつとともに、かえるくんとがまくんのほかのお話に興味をもち、それらのお話も楽しんで読もうとする。

【読むこと】

- ・場面の様子や登場人物の気持ちについて、想像を広げながら読むことができる。
- ・登場人物の気持ちがよく表れるように、語や文のまとまり、声の大きさなどに注意して読むことができる。

【言語事項】

- ・会話文と地の文を区別することができる。

《評価規準》

【関心・意欲・態度】

- ・自分なりの感想をもちながら、お話を楽しんで読んでいる。

【読むこと】

- ・場面の様子や登場人物の気持ちについて、場面の移り変わりを考えながら想像を広げて読んでいる。
- ・登場人物の気持ちがよく表れるように、語や文のまとまり、声の大きさなどに注意して読んでいる。

【言語事項】

- ・会話文と地の文を区別している。

4 指導計画（全13時間）

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準		
			関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
第一次	1	・「お手紙」の全文を読む。	興味をもってお話を読んでいる。	登場人物をおさえている。	会話文と地の文を区別している。
	2	・場面分けをする。 ・あらすじをつかむ。 ・感想をもつ。	自分なりの感想をもっている。	挿絵を参考にしながら、あらすじをつかんでいる。	会話文と地の文を区別している。
第二次	3	・一の場面を読み取る。	進んで音読しようとしている。	お手紙を待つがまくんの気持ちと共感するかえるくんの様子について想像を広げながら読んでいる。	
	4	・二、三の場面を読み取る。		お手紙を書き、届くのを待っているかえるくん	

				の様子とあきらめを強くするがまくんの気持ちについて想像を広げながら読んでいる。	
5 本 時	・四の場面を読み取る。			お手紙のことを打ち明けるかえるくんと感動するがまくんの様子について想像を広げながら読んでいる。	
6	・五の場面を読み取る。 ・かえるくんへ返事を書く。	自分の伝えたいことを考えている。		お手紙を待つ二人の気持ちについて想像を広げながら読んでいる。	
7	・役割読みの練習をする。	読み取ったことを表現しようとしている。		登場人物の気持ちがよく表れるように、語や文のまとまり、声の大きさなどに注意して読んでいる。	
8 9	・役割読みの発表会をする。	お互いの読みを一生懸命に聞き合っている。			
第三次	10 11	・このほかのかえるくんとがまくんのお話を読む。	興味をもってお話を読んでいる。	場面の様子や登場人物の気持ちについて、想像を広げながら読んでいる。	
	12	・好きなお話を紹介し合う。	進んで紹介したり、紹介を聞いたりしている。		
	13	・新出漢字、言葉の練習をする。			新出漢字を正しく読んだり書いたりしている。

5 本時の指導

(1) 目標

お手紙のことを打ち明けるかえるくんとそれを聞いて感動するがまくんの様子について想像を広げながら読むことができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価・評価基準	備考
導入 2分	1 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">お手紙のことを聞いたがまくんの気持ちを考えよう。</div>	・学習場面の範囲を確認する。		
展開 35分	2 各自で音読の練習をする。 3 場面の様子や登場人物の気持ちを読み取る。 ・手紙のことを隠しきれずに話してしまうかえるくん ・手紙に感動するがまくん ・幸せな気持ちの二人 4 読み取ったことが表れるように音読する。	・「まとまりに気をつけて読む」「すらすらと読む」「くふうして読む」などのめあてをもたせてから練習させる。 ・語や文のまとまりに注意して読めるように支援する。 ・会話文の音読を発表させ読み方の理由（根拠となる語句）について話し合わせる。 ・一の場面の挿絵と地の文とを比較しながら、二人の様子や気持ちについてとらえさせる。 ・登場人物になりきって音読させるために、グループで活動させる。	場面の様子や登場人物について、想像を広げながら読んでいる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A 語句をもとに場面の様子や登場人物の気持ちについて話すことができる。 B 読み方の根拠となる語句を指摘することができる。 C ヒントとして会話文を示して考えさせる。</div> 登場人物の気持ちがよく表れるように音読している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A 読み方を工夫することができる。 B 語や文のまとまりに注意して読むことができる。 C 教師の後に続いて音読に取り組ませる。</div>	めあてカード
終末 8分	5 学習のまとめをする。	・本時の学習を振り返り、感想を書かせ、発表させる。		振り返りカード